

誘電・誘導加熱装置の富士電波工機

井手 武雄 (いで たけお) 富士電波工機(株) 第一機器部

要約 弊社は昭和23年に設立されて以来、ひたすら高周波工業加熱分野を歩み続け、より良い製品への改良、より高度な応用への開発、研究を重ねてきた。その成果は数多くの工場、研究所において高く評価され、絶大な信頼をもって御使用いただいている。省エネ、省力化、そして省資源や地球環境の保護に貢献できる高周波誘電、誘導加熱、マイクロ波加熱について、是非この機会に御検討いただきたい。

1. はじめに

弊社は、CO₂を排出せず、作業環境を悪化させないクリーンで高効率なエネルギーである電磁波の高度な適用をめざし、誘電加熱、誘導加熱、マイクロ波加熱などの高周波応用技術を基に、電気部品をはじめ自動車、建材、セラミックス製造、食品など幅広い分野の産業用高周波機器、試験研究用機器を設計・製作している専門企業である。ここでは弊社の沿革と高周波技術およびその技術を応用した製品について御紹介したい。

2. 弊社の沿革

NHKの技師であった斎藤基房が高周波の加熱作用に着目し、製造分野への利用めざして昭和23年に創業した。まず、塩化ビニルシートの貼り合せ加工装置である「ウェルダ」を最初に開発し、市場のニーズもあり順調に生産数を増やした。続いて、押出成形用の樹脂を加熱する「プレヒータ」を上市した。この装置



図2 プレヒータ1号機

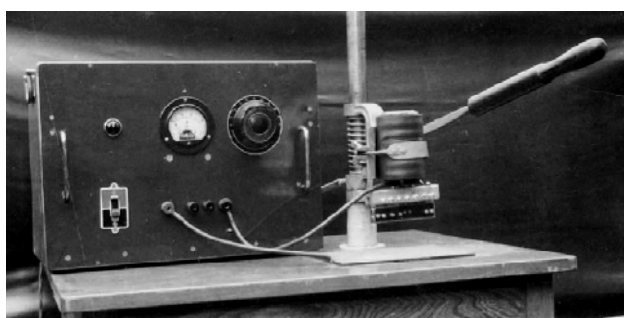


図1 150W ウェルダ1号機

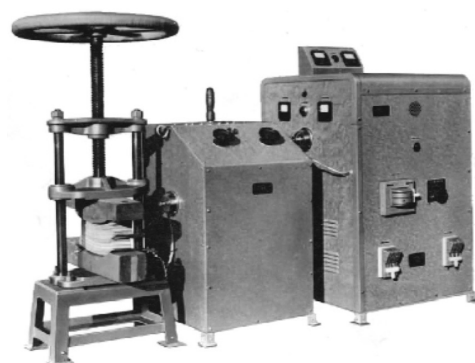


図3 木材加熱成形加工装置1号機